

## 心理学参考文献（発達）（2013年8月改訂）

はおすすめ。 は広島キャンパス図書館になし（ は一部欠）

### 発達の入門書

1. 藤永 「発達の心理学」 岩波新書  
人間の発達に関するわかりやすい入門書。
2. ポルトマン 「人間はどこまで動物か」 岩波書店（新書）  
人間の赤ん坊は「生理的早産」の状態生まれることを指摘した影響力のある本。
3. 無藤 「赤ん坊から見た世界 - 言語以前の光景」 講談社現代新書  
人間の乳児がもつ優れた心理的能力を、最新の研究成果をもとに述べる。
4. 野村 「乳幼児の世界 - こころの発達」 岩波新書
5. 波多野・滝沢 「子どものものの考え方」 岩波書店（新書）
6. 野田 「乳幼児のことば」 大日本図書
7. 浅見他 「乳幼児の発達心理」（1～3） 大日本図書  
上の4つは乳幼児の発達に関する一般向けのわかりやすい本。

### 幼児教育の入門書

8. 藤永 「幼児の発達と教育」 有斐閣新書
9. 藤永 「幼児教育を考える」 岩波書店（新書）
10. 詫摩 「伸びてゆく子どもたち」 中公新書  
上の3つは幼児教育のわかりやすい本。
11. 伊藤 「幼児の人生相談 - 子どものホンネが分かりますか」 有斐閣新書  
幼児が自分のことを人生相談するという体裁をとったユニークな本。

### 野生児に関する本

12. イタール 「アヴェロンの野生児」 福村出版  
人間は人間の環境の中に育って初めて人間として発達することを示す野生児の例。
13. シング 「狼に育てられた子」 福村出版  
インドで見つかったオオカミ少女を保護、教育した人自身が書いた感動的な記録。
14. ゲゼル 「狼に育てられた子」 家政教育社  
同じ例について、児童心理学者の立場から分析した本。

### 虐待児に関する本

15. フォイエルバッハ 「カスパー・ハウザー」 福村出版
16. 藤永他 「人間発達と初期環境」 有斐閣  
上の2つは虐待児の記録。藤永他は日本での具体的な事例を研究した貴重な本。

### チンパンジーの教育に関する本

17. 岡野 「もう一人のわからんちん」（新版） ブレーン出版  
チンパンジーの子どもを人間として育てた日本人学者による貴重な記録。
18. ヘイズ 「密林から来た養女」 法政大学出版局  
こちらはアメリカ人学者による、チンパンジーを人間として育てた記録。
19. 岡野 「チンパンジーの知能」 ブレーン出版
20. アモン 「チンパンジーの言語学習」 玉川大学出版部
21. プリマック 「チンパンジー読み書きを習う」 思索社  
上の3つはチンパンジーを人間の子どものように教育できるかを扱っている。

### 発達関連の興味深い本

22. 明橋 「子育てハッピーアドバイス」 1万年堂出版  
10歳までの子育てで、甘えさせること、自己評価を高めさせることの効用を説く。

23. 柳澤 「いま赤ちゃんが危ない」 フォー・ユー
24. 柳澤 「サイレント・ベビー」 クレスト社  
上の2つは赤ちゃんと大人との関わりの重要性をわかりやすく小児科医が解説。
25. 下條 「まなざしの誕生」 新曜社  
赤ちゃんの視覚がどうなっているのかを、初心者にもわかるように解説。
26. スセディック 「胎児はみんな天才だ」 祥伝社  
4人の娘がどの子も高い知能を持つようになった胎児教育の成功例。
27. 伊藤 「家庭のなかの対話 - 話しあえない父親のために」 中公新書  
親子の対話はどうしたらできるのかを提案したわかりやすい本。
28. ハーロウ 「愛のなりたち」 ミネルヴァ書房
29. ティンバーゲン 「動物の行動」 パンフィカ
30. ローレンツ 「ソロモンの指環」 早川書房  
上の3つは動物の行動を研究した有名な研究者による研究成果の紹介。